立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

東京都議会議員候補

風間ゆたか

7/4(日) 都議選投票日

期日前投票もできます！

「子ども最優先」を貫く。

子育てや教育が、やっぱり私は好きなんですよね。
硬直化した制度の壁にはねかえされて、
自分の無力さにいらだちや虚しさを覚えることもあるけれど、
目の前の困っている人が笑顔になった瞬間の喜びこそ、
議員という仕事のいちばんの醍醐味だと思っています。

コロナで先行きが見えない不確かな時代にあって
誰ひとり取り残されることのないやさしい東京をつくるべく、
それぞれが抱える課題に全力で取り組んでいく覚悟です。

そして、それでも私は「子ども最優先」を貫きたい。
そう実感する自らの心の声へ正直に耳をかたむけて、
まずは、子どもたちのことがいちばん大切にされる社会を
皆さんと一緒につくりあげていきます。

応援します！

保坂展人（世田谷区長）

立憲民主党 代表
枝野幸男

立憲民主党 代表代行
蓮 舫

立憲民主党 幹事長代理
手塚よしお

立憲民主党 政調副会長
落合貴之

参議院議員
塩村あやか

証 紙

48歳、妻と子ども3人、5人家族

風間ゆたか Story ストーリー

1973年2月生まれ。早大本庄高等学院、早稲田大学政治経済学部 卒業。
ベネッセ、ウィル・シード取締役、早大大学院非常勤講師などを経て、
世田谷区議会議員4期。趣味はキャンプと料理。A型、丑年、下馬在住。

▶大学ではラグビーサークルでロック

▲キーボード担当でした

▲毎日新聞に掲載。「野球漬け」の青春時代

亡き父は教師だった。「自分の人生を思うように歩め」と育った私は、小学校では自由奔放、やりたい放題の問題児。中学・高校では野球部でキャッチャー・主将・4番を務め、聖飢魔Ⅱのコピーバンドで街中の噂になったことも。最愛の母が亡くなった年に、早稲田大学を卒業、**ベネッセへ入社**した。バイタリティだけは負けない異端児新入社員として、新チャンネル開発チームにも抜擢され、充実した日々を過ごした。その後、**教育ベンチャー会社へ参画**し、私はがむしゃらに働いた。体験型プログラムを経産省から受託して全国の小中学校で行うなど会社を成長させるも、政治家として「教育を一生のテーマにする」と決意し、**34歳で世田谷区議会議員へ。**仕事をしている妻と家事・育児は分担がアタリマエの我が家。「女らしく」「男らしく」の呪縛から私を開放してくれた妻には、心から感謝している。

▲ベンチャー創業期の仲間とともに

▶夕食当番は妻と交代で

◀急に発症した皮膚の疾患「乾癬（かんせん）」に悩まされた時期も

頒布責任者：柿沢雄太（世田谷区下馬2-44-1-102）　印刷者：株式会社三森印刷（秋田県大仙市福田町12-29）

特別対談

立憲民主党 東京都会議員候補

風間ゆたか × 保坂展人（世田谷区長）

風間さんは「子どもファースト」で区政改革の先頭に立ってきました。東京都の教育・子ども政策に果敢に切り込める人です（保坂）。

保坂　昨年、児童相談所の運営を東京都から世田谷区へ引き継いだときに、まあびっくりしましたよ、その固さぶりと根拠なき優越感には（笑）

風間　一部の官僚組織が硬直化していて、しかも議会とも馴れ合っているような印象がありますね。変えていかなきゃならないと思います。

保坂　やれるんならやらせてもいいですよと言いつつ、人も金も出さない、場所も貸さないで、区で本当にできるんですか？と。挑発的でしょ。風通しが悪い。だからそこに風穴を、名前も風間だし、開けて欲しいなと。

・・・

保坂　小池知事は、あまり教育のことは言ってない印象ですけど、どうですか？

風間　国際金融都市とかイノベーションとかそういうことばっかりですね。

保坂　東京は本来すごい人材が集まっている都市。例えば、都立高校で世界にないような素晴らしい学校空間や、若い世代が、なんか内心をかき立てられるような、そういうものを作れる可能性があるのに、その議論がここ20年くらい止まっちゃってね。どっちかって言うと規制ばかりで、髪の毛の色の証明書出せなんてことをいまだにやっている。

風間　世田谷区の新しいフリースクールの成功例や、特例のアートスクールも区長はお考えのようですけれど、今の制度の中でも政治家の決断できちんとできるんだと、ある意味世田谷が証明しています。東京全体に広げていきます。

続きはブログ・YouTube で公開中！！

風間ゆたかのめざす東京

1 ジェンダー平等の推進

LGBTや男女など性別による差別や生きづらさをなくし、誰もが自分らしく生きられる社会に

- 選択的夫婦別姓を支持
- 同性パートナーシップ制度の導入

2 学校教育のアップデート

これからの社会で必要なことを、コロナ禍でもすべての子どもたちがきちんと学べる学校体制へ

- 学校関連の人員を増やす
- 不登校やいじめ対策の強化
- 校則や都立高入試制度の見直し
- 給食費の無償化

3 SDGsに応じた経済＆環境政策

地球資源を守りながら、原発に依存しない脱炭素社会を実現し、循環型経済発展の実現を

- 東京都版 SDGs の推進と広報強化
- 自治体版 RE100 の推進

4 子ども子育て予算拡充

子どもの権利条約に則った子ども政策を推進し、産み育てることへの保護者負担感の軽減を

- 児童虐待防止策強化
- 待機児童の完全解消と保育士待遇強化

5 暮らしの安心安全対策強化

コロナ対策と災害対策にチカラを入れ、誰もが安心して生きていけるための予算編成へ

- 福祉と医療の予算を拡充
- 災害と感染症対策の強化

感染拡大の懸念を払しょくできない限り、東京五輪は延期か中止に！

コロナ対策に予算と人材の集中を。

国や東京都は、この夏の東京オリンピック・パラリンピックの開催という危険な賭けに出ようとしています。しかし、感染拡大を招かずに大会を開催できる根拠は示されていません。

多くの人たちの思いが詰まった東京五輪、できることなら成功させたいという願いは私も同じです。しかし五輪は、他のスポーツイベントとは桁違いに多くの人々が国境を越えて移動します。世界はいまだパンデミックの中にあり、国内外の専門家が警鐘を鳴らしています。

私たちはこの１年余り、多くの我慢をしてきました。学校の休校、お店の休業、多くの犠牲を払ってきたのは感染拡大防止のためではなかったでしょうか。今なお制限が残る中、なぜ五輪だけは安心安全と言えるのでしょうか。

ワクチン接種が行き渡れば、また日常に戻れるだろうその手前で、感染を再拡大させるわけにはいきません。私たちは東京都議会で、コロナ対策に予算と人材を集中していきます。